

東北学院大学の3つの方針 学科の理念・目的、求める学生像

①入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学は、次の点を評価して入学者を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
3. 高等学校における学修によって、基礎的英語力及び入学しようとしている学部学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)
4. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/学修への態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(学修への態度)

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点											
		本学が実施する各入試は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(○：特に重視、○：重視)重視する。											
		一般入試	センター試験利用入試	英語外部試験利用入試	AO入試	学業推薦入試	資格取得推薦入試	キリスト教等推薦入試	スポーツ推薦入試	文化活動推薦入試	TG推薦入試	外国人留学生特別入試	社会人特別入試
文学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2. 文学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3. 高等学校における学修によって、文学部での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。または、英語熟達度テストにおいて一定程度の英語力を持ち、文学部における学修にその強みを生かそうとしている。(知識・技能)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)							○	○				
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)											○	○
経済学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2. 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項について知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の経済」「現代社会の諸問題」で学習すべき基本的事項については正しい知識を持つとともに、それらに関する社会事象について学ぼうとする関心・態度をもっている。(知識・技能/学修への態度)	知識	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	知識	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	文章	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	口頭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)											○	○
経営学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2. 経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経営学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3. 企業や社会に関して、高等学校の社会科科目ないし商業科目の教科書が扱う水準の知識があり、それらに関してさらに学ぼうとする関心と意欲をもっている。(知識・技能/学修への態度)	知識	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	関心・態度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	知識	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	文章	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)	口頭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

学部	アドミッション・ポリシー	入試別の重要評価点											
		本学が実施する各入試は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(○：特に重視、○：重視)重視する。											
		一般入試	センター試験利用入試	英語外部試験利用入試	AO入試	学業推薦入試	資格取得推薦入試	キリスト教等推薦入試	スポーツ推薦入試	文化活動推薦入試	TG推薦入試	外国人留学生特別入試	社会人特別入試
法学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	2. 法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項の知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の政治」で学習すべき基本的事項について正しい知識をもつとともに、それらに関する社会の事象について学ぼうとする関心及び態度をもっている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	知識	○	○		○	○		○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき水準の英語力がある。(知識・技能)	関心・態度	○	○		○	○		○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	知識	○	○		○	○		○	○	○	○	○
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後もその分野で課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	文章	○	○		○	○		○	○	○	○	○
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)	口頭	○	○		○	○		○	○	○	○	○
工学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	2. 科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度/学修への態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	3. 高等学校における学びによって、「数学」と「理科」で学習すべき基本的知識を有している。(知識・技能/思考力・判断力・表現力)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/学修への態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/学修への態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
教養学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	2. 教養学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、教養学部及び各学科での学びを強く望んでいる。 人間科学科では、人間に対する探究心をもち、学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。 言語文化学科では、母語及び2つの言語について学ぶ意欲を強く持つとともに、言語と文化をめぐって探究する諸分野についての確かな理解と興味を有している。 情報科学科では、情報の起源や特徴などの本質に関して学んだのち、情報を科学的に取り扱うために必要となる基礎的な知識や手法を修得し、情報システム系、数理科学系、自然科学系のいずれかの分野での活用を学ぶことを強く望んでいる。 地域構想学科では、「よりよい地域づくり」に強い関心と意欲を持ち、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できる。 (主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。(知識・技能)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。(知識・技能)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)	文章	○	○		○	○		○	○	○	○	○
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)	口頭	○	○		○	○		○	○	○	○	○
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(主体的に学ぶ態度)	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○

②学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

- 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
- 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力(コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど)及び英語力を身につけ、活用することができる。
- ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
- 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
- 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

③教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果(以下「学修成果」という。)を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

- 学修成果1～3を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。
- 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
- 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。
- 教養教育科目の「人間的基礎」と「知的基礎」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせる。
- 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「学科教養」科目群を置く。
- 学修成果4を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置き、各学部の学位授与の方針に基づき編成する。専門教育に関する初年次教育、基礎教育、及びキャリア形成支援教育は、専門教育科目の中で行う。
- 学修成果5は、能動的学修に向けた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部とする。また、地域の課題発見と解決を主たる目的として、「地域教育科目」を置き、2単位必修とする。
- 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

学科の理念・目的、求める学生像

英文学科	
理念・目的	国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。
本学科の求める学生像	1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 <p>2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。</p> <p>3. 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。</p> <p>4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。</p>
	3. 歴史に関する基礎知識を有している。 <p>4. 本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。</p>

教育学科

理念・目的
人がよりよく生きるための学びと人間的成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。

本学科の求める学生像

- 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。
- 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。
- 人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。
- 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。

経済学科

理念・目的
時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付けるように基礎理論から現実の問題や政策を段階的に学習する。

本学科の求める学生像

- 十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考え自分の意見を明確に主張することができる。
- 現代社会の動きに強い関心をもち、それについて深く調べたいと考えている。
- 社会とは何か、とくに経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲をもっている。
- 本学科の開講科目に強い関心をもち、学ぶ目的がはっきりしている。

共生社会経済学科

理念・目的
経済学のエッセンスを学びながら、年代や性別、ハンディキャップ、民族・文化の異なる多様な他者への理解を深め、共に生きる発想に基づいて、新たな社会経済システムを構想し実践できるような人材の育成を目指す。

本学科の求める学生像

- 十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。
- 本学科で学びたいという明確な意志をもち、それを自分の言葉で表現することができる。
- ボランティア活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に対して積極的に取り組もうとする意欲をもっている。

経営学科

理念・目的
経営学の知識を使って、企業や地域社会の問題を解決できるようになるとともに、よきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り開いていくことのできる能力を養う。

本学科の求める学生像

- 十分な基礎学力を有している。
- 本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとしたビジョンを持っている。
- 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。

法律学科

理念・目的
法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。
なお、理念・教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットーを掲げる。
「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」
“Think legally, for human dignity”

本学科の求める学生像

- 十分な基礎学力を有している。
- 本や新聞などを通して、社会に対する関心と知識を有している。
- 本学科で学修する内容を理解し、それを修得するための十分な意欲を有している。
- こうしたことを、筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。

機械知能工学科

理念・目的
人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。

本学科の求める学生像

- 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を有している。
- 技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚し、積極的に学ぼうとする意欲を有している。
- 本学科を志望する明確な理由やそれを明らかにできる活動や経験があり、それを自らの言葉で表現することができる。

電気電子工学科

理念・目的
電気工学系の基礎的知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を育成する。

本学科の求める学生像

- 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。
- 先端科学技術に強い関心をもち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。
- 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。

環境建設工学科

理念・目的
キリスト教精神に基づく、倫理観を備えた人格を形成する。
社会人として必要な教養を身に付けるとともに、環境工学の素養を持った中堅の建設系技術者を養成する。
特に、技術者として具備すべき基礎学力を有し、基礎的専門知識を着実に修得した実践型の技術者となる学生を育成する。

本学科の求める学生像

- 本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。

- 本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。
- 社会人、技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的人格を身につける意欲を有する。

情報基盤工学科

理念・目的
社会基盤となる情報・通信工学技術を発展させ、人類の福祉に応用するという工学の使命に基づき、これらの原理を数学の基礎から徹底して学び、変化の激しいICT(Information Communication Technology)分野において未来を切り拓くことのできる技術者を育てる。

本学科の求める学生像

- 本学科で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を有している。
- IT分野に強い関心を示し、関連分野の知識を習得する意欲を有している。
- 本学科で学ぶ心構えと意欲をもち、かつ計画的な学習活動を行うことができる。

人間科学科

理念・目的
人間を多角的・実証的に捉える力を育てる。

本学科の求める学生像

- 人間や社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解できる基礎的な学力を有している。
- 人間や社会の問題を実証的に分析する上で基礎となる数学的な思考力を備えている。
- 自分の興味関心と将来の目標について、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。
- 人間に対する探究心をもち、本学科の教育内容について自ら調べ、志望理由を明確に表現することができる。

言語文化学科

理念・目的
1. 多言語・多文化を通して人間を考える。
2. 人と人をつなぐ人になる。

本学科の求める学生像

- 英語をはじめとした十分な基礎学力を有している。
- ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかについて、第二外国語として学ぶ強い意欲を有している。
- 自分の考えや興味関心について、筋道を立てて説明することができる。
- 言語と文化をめぐる探求する諸分野、とりわけ諸社会の生活文化(衣食住、コミュニケーション、家族、ジェンダー、民族、宗教など)や表現文化(文学、思想、映画、演劇、美術、音楽など)について、的確な理解と興味を有している。

情報科学科

理念・目的
ITスキルを身につけた教養人を養成する。

本学科の求める学生像

- 十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報システム系、数理学系、自然科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。
- 一般社会における情報技術の必要性や役割を理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。
- 自分の考えについて、筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。
- 本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。

地域構想学科

理念・目的
グローバルな視野を持って、よりよい地域をつくる人材を育てる。

本学科の求める学生像

- 十分な基礎学力を有している。
- 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。
- 学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。
- 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的に関わっていかこうとする明確な目的と意欲を有している。